

地元の急激な少子化に対応しつつ、
長期的展望をもって制度への要望をいかに具体化できるか。

【地元自治体（池田町）の状況】

- ・ 公立保育所 5 温知、宮地、西、片山（組合立1保育園養基）
民間幼保連携型認定こども園 3 池田、八幡、市橋
児童館、放課後児童クラブ、子育て支援センター、病児病後児保育施設は町が運営
- ・ 池田町議会「公共施設整備検討特別委員会」設置
- ・ 出生数年間 100 人を割るペースの少子化（令和3年度 112 人）とコロナ禍によって保育園の再編がクローズアップ
- ・ 町の方針 長期計画の策定はない。
 - ① 宮地を廃園し温知への統合を打ち出すも地元住民の反対により保留中
 - ② 市橋（指名）による片山の民営化（令和5年度4月～）を議会決定
条件として2園の統合（令和10年度目途）が盛り込まれる
片山保護者からの反対意見多数、10/15に第1回説明会開催
 - ③ 西の廃園、温知への統合を予定 将来的に、公立1、民間3の方針
- ・ 急激な少子化にともなう公立園の「指定管理」の可能性に意見を提示しているうちに運営の打診を受けた。その後「民営化」に変化していくなかで、あわせて将来的な「統合」（自園にとっては閉園を意味する）の方向となった。

【現在、対応中の課題】

- ・ 民営化への抵抗感
- ・ 子どもへの影響、環境の変化への不安
- ・ 変化を望まない保護者ニーズ、地元ニーズ
- ・ 人材確保、人材養成の困難
- ・ お寺（宗教、仏教、僧侶）の園への抵抗感
 - 引継期間3年の設定（町提案）
 - 保護者説明会の開催
 - 運営主体市橋保育園の保育への理解を求める
 - 当初3年間は変化しないことを約束
 - 園名、園歌、年間行事、持ち物などの保護者負担の踏襲を約束

【池田町発 岐阜みんぽ発 要望の具体化】

- ・とはいえ、「3年間は変化しません」と約束している間にもすすむ少子化地元の子どもたちが育つ環境の充実をめざす必要がある
- ・「地域における保育所・保育士等の在り方に関する検討会」「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」など国レベルの取り組みもすすむ中
長期的展望をもって制度への要望をいかに具体化できるか。

-
- ・待機児童解消を見据えた少子化対応施策
 - ・0歳児からの乳幼児教育・保育
 - ・その他の地域
-

【市橋保育園の概要】

社会福祉法人 市橋保育園 幼保連携型認定こども園 市橋保育園

- ・沿革 平成28年度より幼保連携型認定こども園 本年開園70周年
- ・定員 70名
令和3年10月現在74人（町内60人、広域14人）
（5歳15人、4歳11人、3歳12人、2歳16人、1歳11人、0歳9人）
- ・職員数 28人
 - 保育教諭 常勤12人（+育休2） 非常勤4人（+育休1）
 - 保育補助者 常勤1人 非常勤3人
 - 調理 常勤1人 非常勤2人
 - 管理 副園長1人、園長1人

【民営化予定園の概要】

池田町立保育所 片山保育園

- ・沿革 昭和51年3月開園
- ・定員 100名
令和3年4月現在76人（町内74人、広域2人）
（5歳12人、4歳25人、3歳15人、2歳13人、1歳9人、0歳2人）
- ・職員数 15人
 - 保育教諭 常勤7人（+育休0） 非常勤4人（+育休0）
 - 保育補助者 常勤0人 非常勤0人
 - 調理 常勤0人 非常勤2人 ※以上児分給食センター搬入
 - 管理 副園長1人、園長1人